

直方市

福岡県直方市は、筑豊地方の北端部に位置し、福智山山系の深い緑と遠賀川水系の豊かな水を湛える自然環境に囲まれた地域です。また、石炭産業の歴史が深く、明治以降、筑豊炭田（※１）の石炭を集荷・輸送する拠点として発展しました。炭鉱閉山後も炭鉱のイメージが強かった直方市は、「炭鉱の町」からの転換を図るため、１９９６年に「直方市花の都市宣言」を行い、のおがたチューリップフェアを開催する等、花をテーマにしたまちづくりを進めてきました。２０２２年には、コロナ禍がもたらした観光トレンドの変化を受け、「花」を観光資源として活用するため、すぐそこにある「お手頃な非日常」の提供、また訪れたくなる、ちょっと特別な場所をコンセプトに、「花文化観光都市」の実現を目指し、国内外客に訴求する直方市ならではの新たな観光コンテンツ造成に取り組んでいます。

その取組みの一つとして、「直方＝フラワーリズム」のブランディングを目的に、観光庁の「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業（※２）」を活用し、国内外の観光客の集客を図るべく「体験型観光コンテンツの造成」と「お土産品開発」を実施しています。本事業において、FFGでは、iBankマーケティングやTAPP（※３）と連携し、体験型観光コンテンツのプロモーション支援やお土産品の開発支援を行っています。

直方市の連携事業者

観光庁

補助金

直方市
事業主体

連携

株式会社もち吉
お土産品開発協力

一般社団法人
直方市観光物産振興協会
ツアー造成サポート

プロモーション・商品開発事業受託

体験コンテンツ造成・海外プロモーション事業

事業連携窓口

福岡銀行
地域共創部

FFG

連携

iBankマーケティング
プロモーション支援
お土産品開発企画

TAP
お土産品
パッケージデザイン

協業

アライアンス企業

株式会社VISIT九州
ツアーの企画・催行
海外向けプロモーション
申請・報告サポート

株式会社九州緑化建設
体験コンテンツ造成サポート

遠賀川流域に広がる石炭層。明治中期以降、県内外から多くの資本が入り本格的な開発が始められ、日本有数の炭田として発展。

※２ インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテツツ造成支援事業

観光庁の公募事業。本格的な再開が見込まれるインバウンドの地方誘客や観光消費の拡大を促進するため、観光事業者が連携してインバウンド向けに地域に根差した観光資源を磨き上げる取組みの支援を目的としている。

株式会社TAP。建築・空間デザインを含むリアル制作物・広告企画を主業務とする地場デザイン会社で、iBankマーケティングの子会社。



のおがたフラワーレストランのようす



地元産農産物を使ったランチ



フラワーキャンドル作り体験



直方市限定お土産品イメージ

体験型観光コンテンツの造成では、直方市の観光地である「紅葉の森」と「福智山ろく花公園」において、「花」×「食」×「体験」をテーマに、海外の専門家を招聘したモニターツアーを開催しました。モニターツアーは、「紅葉の森」に特設したフラワーレストランで地元産農産物を使ったランチを「直方の食」として弁当で提供。また、「福智山ろく花公園」では、通常の営業内容にはない園内ガイドやフラワーキャンドル作り体験を実施しました。引き続き、地元事業者等と連携・協働し、地域資源や地域特性を活かした魅力ある観光コンテンツを造成し、交流人口・関係人口の拡大を目指していきます。

また、お土産品開発では、地元事業者である株式会社もち吉と連携し、直方市限定のパッケージ開発を行いました。花の都市ブランド形成への寄与、認知拡大を目的に、直方市の四季の花をあしらった、温かみのあるパッケージをデザインしました。開発した商品は2回目のモニターツアー参加者へ配布し、今後、直方市限定のお土産品として販売することを予定しています。

今後もFFGは、お取引先の業績に貢献する取り組み（本業支援）や、直方市をはじめとした地域の課題解決・活性化に繋がる取組を行ってまいります。

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

 bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- 産業振興
- 教育文化芸術
- まちづくり
- エネルギー
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254



福岡銀行 地域共創部 瓜生
【お問い合わせ】092-723-2254